

# 「防火設備定期検査業務基準」2020 年改訂 WEB 講習開催のご案内

主催 一般財団法人日本建築防災協会

平成 28 年 6 月に施行された改正建築基準法により、同法第 12 条に基づく新たな制度として、防火設備定期検査報告制度が創設されました。本協会では、これに対応して、登録防火設備検査員講習を実施し、検査員を養成するとともに、防火設備定期検査の必携図書として、「防火設備定期検査業務基準」を発行しています。

このたび、平成 30 年に施行された建築基準法の防火関係規定の改正内容を取り入れるとともに、検査の手順や重要ポイントの解説及び写真等を大幅に充実させた 2020 年改訂版を発行いたしました（「5. 「防火設備定期検査業務基準（2020 年改訂版）」目次構成と改訂のポイント参照）。

この「防火設備定期検査業務基準」をテキストとし、改訂のポイントを中心とした WEB 講習を実施することといたしましたので、防火設備の検査実務に携わる防火設備検査員および 1 級・2 級建築士、定期点検・定期報告担当行政職員の皆様には是非受講されますようご案内いたします。

■本講習は防火設備検査員の資格取得のための講習ではありません。

■本講習は建築士継続能力開発（CPD）制度認定講座（予定）です。

## 1. 講習・申込概要 WEB 受講のみ

受講（配信）期間： 令和 2 年 9 月 23 日（水）10:00～ 10 月 20 日（火）17:00

申込期間： 令和 2 年 9 月 1 日（火）～ 10 月 6 日（火）

## 2. プログラム（予定）

科 目	講 師
防火設備を巡る最近の状況について（30 分）	国土交通省担当官
防火設備定期検査業務基準の改訂ポイント（90 分）	防火設備定期検査業務基準編集委員会 委員

## 3. 受講料（テキスト代含む） 8,800 円（税込）

## 4. テキスト 「防火設備定期検査業務基準（2020 年改訂版）」（発行：（一財）日本建築防災協会）

## 5. 「防火設備定期検査業務基準（2020 年改訂版）」目次構成と改訂のポイント

目次	改訂のポイント
第 1 編 用語の定義・解説	
第 2 編 防火設備定期検査業務基準	・ 定期検査の事前準備方法、要領、手順の充実 ・ 検査計画図の記載例の追加
第 3 編 防火設備定期検査報告書及び作成要領	・ 施行規則及び告示の改正内容の反映 ・ 報告書の作成要領充実
第 4 編 防火設備の定期検査及び検査結果表	・ 検査結果図の記載例の追加
第 5 編 構造基準及び設置基準	・ 感知器等の構造基準及び設置基準の充実
第 6 編 防火設備検査項目解説	・ 各検査項目の解説の充実 ・ 要是正等の写真の大幅な充実 ・ 検査対象となる防火扉・防火シャッターの種類追加と解説の充実 ・ 4 年間の検査に関する質問等に対する回答の反映
第 7 編 防火設備定期検査に係る関係法令	・ 各種法令の改正の反映

## 6. 申込方法

本協会ホームページ（講習・検定＞防火設備定期検査業務基準講習）の受講申込フォームから必要事項を入力し、お申し込みください。

<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/workshop/>



QR コード